

横浜開港の先覚者、佐久間象山生誕200年記念事業に向けて

一八五九年、国際的港町・横浜。文明開化の発祥の地。

横浜開港のために東奔西走した獅子幕府に対し、横浜を先進文明の受け口とすべく叫び続けた男。果敢「信濃の国」にも登場。人は彼を先生と呼ぶ。

佐久間象山
「いざ世界へ！」

横浜

2011年、佐久間象山生誕200年へ



象山は、一八一二年松代藩士佐久間一学の長男として生を受ける。幼いころから学問・武術を習い、二十歳で詩文・経書・武術等免許される程の秀才であった。

江戸のばり佐藤一斎の塾に入り、渡辺崋山や藤田鳴鶴らと親交を深めた。また木挽町に自ら塾を開き、門下生として吉田松陰・海舟・坂本龍馬・楠本左内・河合維之助・小林虎三郎・山本實馬・加藤玄など幕末に活躍した著名な人物がいる。

日本人として初めてフランス電信機、電気医機器、写真機、大砲、火薬などをつくり、また暹羅にまで月面観望機の製造・養豚と幾多の進歩的

な科学実験を試みたことも知られている。

●象山と横浜

黒船事件以前から開港を唱えていた象山は、江戸から少しも港を遠ざけた幕府の下田開港に対し、横浜開港に奔走した。

一八五四年ペリが再来航、象山は藩命により重鎮役として活躍。横浜の整備に当たる。語学に堪能であり、ペリから敬礼を受けた。ただ一人の日本人とも伝えられているその功績をたえ、一八五四年開港100年記念として、横浜市の野毛山公園内に顕彰碑が建てられた。

(参考資料：象山神社)

海上秀哉作「佐久間象山先生」象山神社所蔵

《第57回ザよこはまパレードに参加》
撮影：山崎宗夫



開港150周年



2011年、佐久間象山が誕生して200年を迎える。2011年に逢いましょう。

松代広告信毎会

株式会社 梅田屋	有限会社 春原木材	不二越機械工業株式会社	株式会社 松代ホンダ
株式会社 小田切車体	株式会社 龍堀司石材店	有限会社 松代	宮尾商会株式会社
株式会社 オビナタ	有限会社 人形の村田	松代工業株式会社	松代金属株式会社
小山木材株式会社	埴科建設株式会社	松代タクシー株式会社	(事務局) 有限会社 山崎新聞店

(50音順)

佐久間象山先生 生誕二百年記念事業実行委員会